

木材を扱う企業ができる SDG's 宣言



【社会貢献の一つとして】

当工房では、社会貢献の一環として公立の中学生向けに実施される「職場体験学習」の「事前学習会（進路学習）」で教壇に立ち「木工製品の職人として」講演をさせていただいております。「仕事とはなにか・・・」「働くとはなにか・・・」「教育・学びとは・・・」と、問いかけながら生徒自身で考える知る力 答えを導き出す力を養わせる事がより人材へと成長していく。また、外国人研修生に「技能検定試験」が行われ、科目の一つである「実技試験」の実技検定委員をさせていただいております。試験終了後には、少しだけ実技の指導をさせていただきます。「モノづくり、日本は物を大事にする文化」。「知りたい・学びたい・挑戦したい」には国境もジェンダーも関係ありなく、技術の伝承を行う事それが先に立つ者の使命とと思います

【技術革新と環境への取り組みとして】

日本は国土の2/3を森林が締めています。しかし国内の森林経営は荒れ果ててしまっています。国の有効な木材資源を活かすべく自社商品の開発を進め令和3年に特許を申請しました。木材製品による新しい発想が認められ「特許」を取得。（特許第6893059号）非静電性である木材に対しての技術革新により、プラスチックなどの石油化学製品が主力でしかなかった分野に進出することが出来ます。さらなる取り組みとして、限りある資源を大切に使うために長年使い続けた無垢材の家具やテーブルをリサイクルし再利用。新しい家具につくり出す取り組みをしています。使えないサイズの木材を無駄にすることなく、ボールペン、万年筆などの小物を製作し、末永くお使いいただける商品販売する新規事業を始めましております。これに伴い海や陸の地球環境を守り、国内産業基盤を生み出し、国内雇用を安定させる事ができるよう取り組んでいます。

【社内での取り組みとして】

自社で行う製品塗装の石油由来塗料を天然由来自然塗料に切り替え80%（ガラス含む）製品出荷時プラスチックなどの梱包材使用から、リサイクルの毛布で包み発送し回収して繰り返し使う事で約70%プラスチック減少。弊社事務所工場の照明を約90%をLED照化しCO2削減への取り組みファクシミリ受信時に印刷を行わず、内容を確認し、PC保存か印刷を選択する事でコピー用紙を約60%減少

【2030年までの目標】

小さな目標でいいんです。一歩ずついいんです。確実に未来のため

- ★インターンシップ研修受け入れを2030年までに年2校までに増やす。
- ★女性技術者を2030年までに1名以上増加させ、性別問わず産休育児介護休を30%増加させる
- ★木材の使用10%増やすし、アップサイクル商品開発を2030年には15%増やし、生産性を10%増やす
- ★現在2021年プラスチックなどの梱包材使用率30%から10%まで減らす

株式会社 家具工房ゆうき
社員一同